

第1回「環境行動計画調査」の結果概要

平成17年1月
(社)日本ツーバイフォー建築協会

[1] 調査概要

(1) 調査目的

- ① 会員各社及び協会本部が、会員各社の環境課題への取組み意識や取組み実態を相互に共通認識として把握する。
- ② 「環境行動計画」のバージョンアップ（平成17年度版）検討の為に基礎資料の収集。

(2) 調査方法

①調査対象

当協会一種（A、B、C、D）正会員 534社

②調査方法

郵送で配布し、FAXにて回収

③調査期間

平成16年9月30日から10月15日（結果は11月15日まで受付け）

④回収率

		配布数	回収数	回収率
総数		534	161	30.1%
内 訳	第1種A正会員	16	11	68.8%
	第1種B正会員	31	16	51.6%
	第1種C正会員	183	70	38.3%
	第1種D正会員	304	64	21.1%

*有効回答とならないもの（D会員3社）を含む

[2] 「会員各社の環境課題への取組み状況」に関する設問への回答の概要

- ・「全社員一丸の積極的取組み」を行っていると回答した会員会社は全体で11%（A:27% B:0% C:11% D:10%）。「概ね全社員が関心を持って対応している」と回答した会員会社を加えれば、全ての会員種別で50%を超えている（A:54% B:69% C:64% D:67%）。

[3] 「16年度版 環境行動計画」の評価に関する設問に対する回答の概要

- ・「大変高く評価している」とした会員が全ての会員種別でほぼ2割。「おおむね評価している」と回答した会員会社を加えれば全体の76% (A:91% B:88% C:71% D:76%) が、平成16年3月に初めて制定した協会版の環境行動計画の内容を好意的に評価している。

[4] 「16年度版 環境行動計画」の個別項目への対応状況に関する調査結果の概要

[主要項目の調査結果に付いてのコメント]

(1) 「省エネルギー化の推進」への取組み

1.-1)-① 全体の約7割、A・B会員では8割超が、ツーバイフォー住宅の特徴である**高い気密・断熱性能**を、自社のパンフレット、ホームページ等で**アピール**をしている。(A:82% B:81%)

1.-1)-② 「**次世代省エネ基準**」の意義を自社のパンフレット、ホームページ等で**アピール**している会員は、全体の34%に留まっている。(A:55% B:44% C:31% D:30%)

1.-1)-③ 「**次世代省エネ基準をクリアした住宅の供給**」を実施している会員は、全体で44%だが、会員種別による差が明確。(A:73% B:56% C:41% D:38%)

(2) 「室内空気質対策」への取組み

2.-2)-① **常に新しい情報を入手**し研修会などに参加している会員は、全体で**丁度 50%**だが、会員種別による差が明確。(A:82% B:63% C:49% D: 43%)

2.-2)-② 「**建材便利帳**」について、「**活用している**」と回答した会員が全体で13%、全会員種別において**2割未満**の活用率で、活用状況は低い。

2.-2)-⑤ 「**性能表示制度の定める最高等級(等級3)の住宅の供給**」を実施している会員は、全体で41%で、会員種別による差が明確。(A:73% B:50% C:40% D:34%)

(3) 「産業廃棄物関連の対策」への取組み

3.-1)-① 「**適正な数量での資材発注の為の施策**」を実施している会員は、全体で**57%**(A:73% B:63% C:59% D:51%)と過半だが、「**今後の実施計画あり**」を含めた場合、A・B会員では**100%**と、全会員が**必須の対策**として**取組みつつある**。

3.-1)-② 「**資材の簡易梱包の推進**」を実施している会員は、全体で 33%だが、「今後の実施計画あり」を含めた場合、A・B会員で 100%、C会員 79%、D会員 74%と高い水準で、多くの会員が、当面の新たな取組み課題として計画をしている。

3.-1)-③ 「**資材のコンポーネント化・パネル化**」を積極的に導入している会員は 43%だが、会員種別による差が明確。(A:73% B:56% C:44% D:33%)

3.-2)-④ 自社が排出している産業廃棄物の「**リサイクル状況を把握できている**」と回答した会員は全体で 25% (A:55% B:13% C:31% D:16%) で高くはないが、「今後の実施計画あり」を含めれば 72% (A:82% B:82% C:71% D:70%) で、各会員種別とも今後の取組み課題として位置付けている。

(4) 「劣化・維持管理対策」への取組み

4.-2)-③ 「**性能表示制度の定める最高等級の住宅の供給**」を実施している会員は、全体で 25%(A:45% B:25% C:29% D:18%) とまだ低率だが、「今後の実施計画あり」を含めれば 77% (A:100% B:94% C:75% D:72%) と、今後の取組み意欲は高い。

(5) 「適切なメンテナンス・リフォーム」への取組み

4.-4)-① 「**適切なメンテナンス情報をユーザーへ提供するための施策**」を実施している会員は、全体で 48%だが、会員種別による差が明確。(A:73% B:63% C:50% D:38%)

4.-4)-② 「**適切なリフォーム情報をユーザーに薦めている**」会員は、全体で 34%だが、A会員と、その他の会員との差がある。(A64% B31% C34% D28%)

(6) 「環境行動の活性化」への取組み

5.-1)-① 「**他の会員と環境行動に関する情報交換を積極的に行っている**」会員は、全体では 8%で、A会員と、その他の会員との差が明確 (A45% B6% C6% D3%)。

5.-2)-② 「**2×4の資材輸出国あるいは輸出企業の環境配慮の状況を資材選択の要素に加えている**」会員は、全体では 13%で、A会員と、その他の会員との差が明確 (A:45% B:19% C:9% D:11%)。

以 上